

声 明

永久平和主義・主権在民・基本的人権という三大原理を柱とする日本国憲法が施行されて70年。しかし、安倍政権によりこの憲法が危機的状況になっています。

いま話題になっている森友学園・塚本幼稚園で行われていたように、幼い子どもの頃から“軍国少年少女になれ”と教え、教育勅語を暗唱させ、日の丸を持たせ「お国の為」「天皇陛下の為」と教えたばかりか、「東洋平和」「五族協和」「王道楽土」と良い事をばかりを言って国民を騙し「満蒙開拓」という国策のために多数を中国東北部（満洲）に送り込みました。そこはソ連国境にあって危険と隣り合わせのところ。「開拓団」は関東軍の兵站としての役割を担わされていたのです。

ソ連侵攻時、軍隊はいち早く逃れ、「開拓団」は何もしらないまま置き去りにされました。残された「開拓民」は自力で逃げざるを得ませんでした。軍隊は決して人民を守るものではない、それに軍隊が存在していたからソ連は侵攻してきた、このことは「満蒙開拓」の歴史が示しているのです。

幼い子どもたちも含め次々と目の前で殺されていきました。血まみれの状態で幽霊のように逃げ回る人々、命令により生まれて来たばかりの我が子を自分の手で殺していく親、死体の山に潜る人々。沖縄も、広島、長崎も、そして空襲被害など日本国内の被害者、兵士として無残に殺された人々など日本人はいうに及ばず、中国や朝鮮半島など外国の人々に対してもこの侵略戦争は筆舌に尽くしがたい悲惨な被害をあたえました。こうした内外の数え切れない多くの人々の生命、そして血と涙と引き換えに得たもの——こうした方々から頂いたと言うべきかもしれません——が、永久平和主義、基本的人権（権利・自由・平等・幸福追求）、主権在民を掲げる日本国憲法なのです。

しかも戦争というのは、戦争が終わってもそこで終わるものではないのです。

「中国帰国者」は元「中国残留邦人」と呼称されるように、戦争が終わったあとに国によって“作られた存在”です。敗戦時に棄てられ、その後も何十年間にもわたってかえりみられないまま中国に放置されたのが中国帰国者とその家族なのです。岸信介首相時代に取り残されているのがわかっていたにもかかわらず、本人の意思を確認しないまま「帰国する意思なし」として切り捨てられ、生きているのに戸籍を抹消された歴史がありました。日中国交正常化があっても日本政府は自らは手をつけず、「帰国したければ自分の力でなさい」という姿勢をもって戦後50年近くを経過させたのです。

軍隊というものがどういうものか“熟知させられ”、国に棄てられやっとの思いで日本に帰国したわたしたち中国帰国者（とその家族）にとって、日本国憲法は、大切な大切な道標（みちしるべ）です。私たち中国帰国者は二度と同じような道を繰り返させません。この日本国憲法に手をつける政治家の誰であれ、許しやしません。

一昨年憲法違反の「戦争法」が強行採決されました。それに加えて教育勅語が学校教育の中に復活しそうで教育が戦前化されつつあります。戦前戦中の治安維持法の復活のような「共謀罪」も上程されて強行採決が目論まれており、昨日衆院法務胃委員会でも強行採決されました。これらは戦争放棄・永久平和主義を崩すとともに、日本国憲法が謳う、私たちの自由・人権を奪うもので、絶対に許すことができません。

日本国憲法は私たち市民のものです。

憲法尊重擁護義務を負っているにもかかわらず、憲法に違反していることを次々行い、改憲したい事項や日程まで次々とうちだす安倍首相は、この国を自分の意のままにしようとしているように見えます。安倍首相の退陣を求めるため行動します。

そして、日本国憲法を守るため行動します。

2017年5月20日 NPO法人中国帰国者の会

声 明

以「永久和平主义」，「主权在民」，「基本人权的尊重」为三大原理的日本国宪法实施迎来七十周年。但是现在这宪法因安倍政权处于危机状态。

战争时期，如在最近成了大家的话题的「森友学园·冢本幼儿园」进行的教育那样，我国孩子们从小一直受成为军国少年少女的教育。学校使孩子们背诵「教育诏书(军国主义教育的方针)」而向孩子们灌输为国家为天皇无私奉公的思想。而且我国在「为东洋和平」「为五族协和」「王道乐土」等的引诱国民的口号下，进行「满蒙开拓」的国策而把许多日本人民，欺骗而送到中国东北部。但是他们实际上被送到的地方就位于和苏联相连的非常危险的国境地带。「开拓团」无非是「关东军」的兵站而已。

战争末期，苏联军将进攻时候，关东军竟然不向「开拓团」传达苏联军进攻的消息，放弃许多日本人民而最先逃走了。所以被遗留的「开拓团」不得不自力逃走。看这事实我们能知道日本军队绝不保卫自国人民的，还因为关东军在国境配置兵力，所以苏联军进攻的。再说只要没有日本军就不会发生「中国残留邦人问题」的。这些是「满蒙开拓」的历史的教训。

被遗留的日本人民在死里逃生时，很多难民陆续遇到杀害，包括幼儿。有人弄得满身是血，如幽灵那样乱跑。有的母亲因命令不得不自己杀自己的孩子。有的人为了生存躲藏在尸体堆里逃脱危险。

上次的战争是不但给冲绳(战争末期直接受美军的大规模的攻击的县)，广岛·长崎(战争末期受美军的原子弹的攻击的县)，其他的国内的受美军空袭的受害者他们，当兵而遭受悲惨的杀害的人们等等的日本受害者，而且给中国，朝鲜半岛等外国人们也带来不能用语言而形容出来的悲惨情景。我们可以说这些国内外不计其数的人民的宝贵生命和血泪的结晶就是以「永久和平主义」「主权在民」「基本人权的享有(权利·自由·平等·幸福追求)」为原则的日本国宪法。换言之，日本国宪法就是在战争时期的国内外的不计其数的宝贵的牺牲者他们送给我们的。

而且，战争这样的用武力的国与国之间的纠纷是为了真正结束需要很长时间的。形式上的战争结束决不等于真正的战争结束。

「中国归国者」是如被称为「中国残留邦人」那样，战争结束后，日本国家造成结果。在战败时期被日本国家遗弃在中国而在战败后几十年之间一直一点也没有自国的照顾的人们就是「中国归国者」及其家属。

在岸信介内阁时期，日本政府对我们在中国遗留的日本人尽管事前了解我们存活的消息，但是不通过本人的意志，单方面把我们看做为「没有回国的意思」的人们而继续遗弃的。甚至有日本政府对还没有死亡的人们也强行办理注销日本户口的程序那样的残酷的历史。日本政府在日中两国国交邦交后也很长时间不积极地采取足够的回国政策，继续持有「愿意回国的人就自力回国得了」的态度。等到战后经过 50 年才能实现中国残留邦人支援法。

关于军队这样的组织究竟是如何，我们中国归国者以及家属，因为亲身体会而深深地印在心身，当然很熟悉。所以对我们这样被国家遗弃而长期以来一直被迫历经艰辛的生活好不容易才能回祖国的中国归国者来说，日本国宪法就是非常非常宝贵的是我们的路标。我们中国归国者决不容战争重演的悲剧再次发生。决不容要修改宪法的任何政治家。

前年安倍政权不顾各方面的反对在国会强行通过「战争法」。而且近来在学校教育上有要复活「教育诏书(军国主义教育的方针)」的动向，换言之，现在我国教育处于在战前时期进行的军国主义教育重演的危机状态。再加上，现在安倍政权向国会提出「共谋罪」法案而要复活战前时期的「治安维持法(为严厉镇压民主运动而强迫服从国家制定的法案)」。安倍政权对这法案也企图强行通过。一系列的安倍政权的动向显然导致崩坏日本国宪法的「放弃战争」「永久和平主义」的大原则，还剥夺在宪法上有明文规定的我们的自由以及人权的。所以我们决不容现在的安倍内阁。

日本国宪法就是为我们市民的。

安倍内阁尽管依宪法上的规定负必须拥护宪法的义务，但是现在陆续执行违反宪法的政策，甚至最近执行改宪法的内容和时期也提及了。我们在这一系列的安倍内阁的动向能看出安倍首相的随心所欲地独揽大权的心思。

我们要求安倍内阁马上下台。

我们为了维护日本国宪法行动起来吧。

2017 年 5 月 20 日 NPO 法人中国归国者会